

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信越自然郷におけるサイクルツーリズム促進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 信州いいやま観光局 (信越自然郷アクティビティセンター) 0269-62-7001
事業区分	産特色ある観光地づくり、地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,251,238 円 (うち支援金: 2,509,000 円)

事業内容

長野県の山岳高原を生かした世界水準の滞在型観光地づくりとして、観光、健康増進、2次交通の補完機能を持つ「サイクリング」を活用し、サイクリストや観光来訪者に気軽にサイクリングを楽しめる受入環境の整備を行った。

信越自然郷エリアの玄関口である、北陸新幹線飯山駅を基点とし、県内では先進的な取組みとして「レンタサイクル相互乗り捨てサービス」の実施運用やガイドツアー体験の人材育成を進め、自転車の特性を生かした広域的な周遊観光を促進する事業として、各自治体や地域団体と連携しサイクルツーリズムの発展を目指し取組みを行った。



【飯山駅より野沢温泉村にてレンタサイクルを乗捨て利用する様子】

【目標・ねらい】

- ①アウトドアアクティビティを活用した広域的な観光による地域振興
- ②北信地域の協働での魅力の発見と情報発信を行う
- ③安心して安全に地域の魅力を体感できる仕組みづくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①信越自然郷エリアで乗り捨て可能なレンタサイクルサービスの運用を行い、観光やまちなか周遊への利便性が向上した。
- ②北信エリアの魅力なサイクル観光コースの設定を行い、WEB ページ等で情報ツールを制作、エリアの情報を発信した。
- ③サイクリスト受入れ環境の整備として、サイクルガイドツアー体験を提供できるガイド人材育成事業を実施し、より安心して安全に地域の魅力を体感できる基盤構築を行った。

※自己評価【 A 】

【理由】

予定通りに事業実施ができ、サイクルツーリズムの基盤整備を実現し、北信エリアの特色を生かした事業活動の第一歩となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・本事業での取組を継続し、当地域ならではの観光コンテンツの充実をはかる。
- ・サイクルツーリズムを推進し、自転車の特性を活かした広域的エリアでの周遊を促進する。
- ・信越自然郷エリアの山岳高原や河川の自然を生かした観光地づくり活動を継続して行う。
- ・地域の方々や関係事業者との連携を深めるとともに協同してまちの活性化へ取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある